



J. FRONT RETAILING

2011年 5月16日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務
 お問合せ先 経営計画事業統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2011年4月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
百貨店業	0.6（2.2）	▲5.4（▲4.0）
スーパーマーケット業	▲4.9	▲0.8
卸売業	▲7.5	▲11.9
その他事業	19.2	1.6
連結合計	▲1.2	▲5.5

※注）百貨店業合計の（ ）内は、松坂屋名古屋駅店（2010年8月29日営業終了）を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店業

- ・4月度の百貨店事業の売上高は、気温の上昇に伴いシャツ、ブラウス、ワンピースなど、初夏もの婦人ファッションが活発に動いたほか、4月19日に増床グランドオープンした梅田店が、入店客数、売上を大きく伸ばして牽引したことなどにより、大丸松坂屋百貨店合計では対前年2.9%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同2.2%増となった。

2) スーパーマーケット業

- ・ピーコックストアは、売場改装効果が持続する藤沢トレアージュ白旗店、袖が浦店、高野台店などが好調に推移したものの、前月の震災後の保存食品を中心とした急激な需要増の反動や閉鎖店舗（茶山台店、多摩店など計5店舗）の影響などにより対前年▲4.9%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲5.1%減、関西地区が同▲3.0%減、中部地区が同▲7.5%減であった。

3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、ホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲7.5%減となった。
- ・その他事業は、大丸梅田店の改装工事などによりJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2011年4月度 百貨店業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	4月度		3～4月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲1.6	▲10.3	▲3.0	▲10.4
大丸 梅田店	68.0	115.2	29.7	74.9
大丸 東京店	▲13.2	▲15.8	▲25.2	▲24.9
大丸 ららぽーと横浜店	7.7	-	0.7	-
大丸 浦和パルコ店	5.5	-	▲5.2	-
大丸 京都店	▲1.6	▲4.9	▲2.4	▲4.1
大丸 山科店	▲14.9	-	▲15.4	-
大丸 神戸店	6.3	1.9	▲0.7	▲2.3
大丸 新長田店	1.0	-	▲0.8	-
大丸 須磨店	▲11.6	-	▲5.8	-
大丸 芦屋店	0.5	-	▲1.5	-
大丸 札幌店	5.6	3.3	0.9	1.2
松坂屋 名古屋店	3.2	1.8	▲0.5	0.3
松坂屋 上野店	▲10.8	▲6.6	▲20.6	▲16.7
松坂屋 静岡店	0.9	▲1.4	▲5.2	▲4.0
松坂屋 銀座店	▲27.4	▲10.1	▲28.1	▲13.0
松坂屋 高槻店	3.4	2.9	▲0.1	3.7
松坂屋 豊田店	1.3	0.6	▲0.0	▲0.5
大丸松坂屋百貨店合計	2.9	9.6	▲3.6	2.0
博多大丸	▲3.4	▲6.1	▲9.1	▲9.7
下関大丸	▲2.4	▲5.5	▲0.9	1.7
高知大丸	0.9	▲0.5	▲3.1	▲2.9
百貨店事業合計	2.2	-	▲4.0	-

※注）合計の前年は、松坂屋名古屋駅店（2010年8月29日営業終了）を除く。

前年に松坂屋名古屋駅店を含めた4月度の増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年1.1%増、百貨店事業合計 同0.6%増。

3～4月度累計は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲5.2%減、百貨店事業合計 同▲5.4%減。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
紳士服・洋品	3.6	▲6.9
婦人服・洋品	7.0	▲0.8
子供服・洋品	6.4	▲1.2
その他の衣料品	▲8.5	▲10.1
衣料品計	5.7	▲2.2
身回品	7.6	▲1.8
化粧品	0.7	▲1.4
美術・宝飾・貴金属	▲1.5	▲8.6
その他雑貨	▲7.0	▲11.3
雑貨計	▲1.0	▲5.5
家具	0.1	▲3.6
家電	▲2.1	▲17.0
その他の家庭用品	4.4	▲0.9
家庭用品計	3.0	▲2.3
生鮮	▲0.0	▲5.5
菓子	▲1.6	▲7.0
惣菜	0.0	▲3.4
その他食料品	▲1.6	1.2
食料品計	▲0.8	▲4.3
食堂・喫茶	14.3	3.6
サービス	▲12.5	▲15.8
その他	▲7.6	▲14.1
合計	2.9	▲3.6

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、初夏もののファッションが好調に推移したことに加え、梅田店増床グランドオープン効果もあり売上を伸ばした。紳士服・洋品は、梅田店のヤング・ヤングアダルトファッション中心に好調であった。身回品は、サンダルやミュールなどの夏ものの出足が好調な婦人靴が牽引した。雑貨は、化粧品は堅調であったものの、美術品・宝飾品は苦戦した。食料品は、梅田店の売上が増床効果で5割増となったが、全体では催事の月ずれなどが影響した。